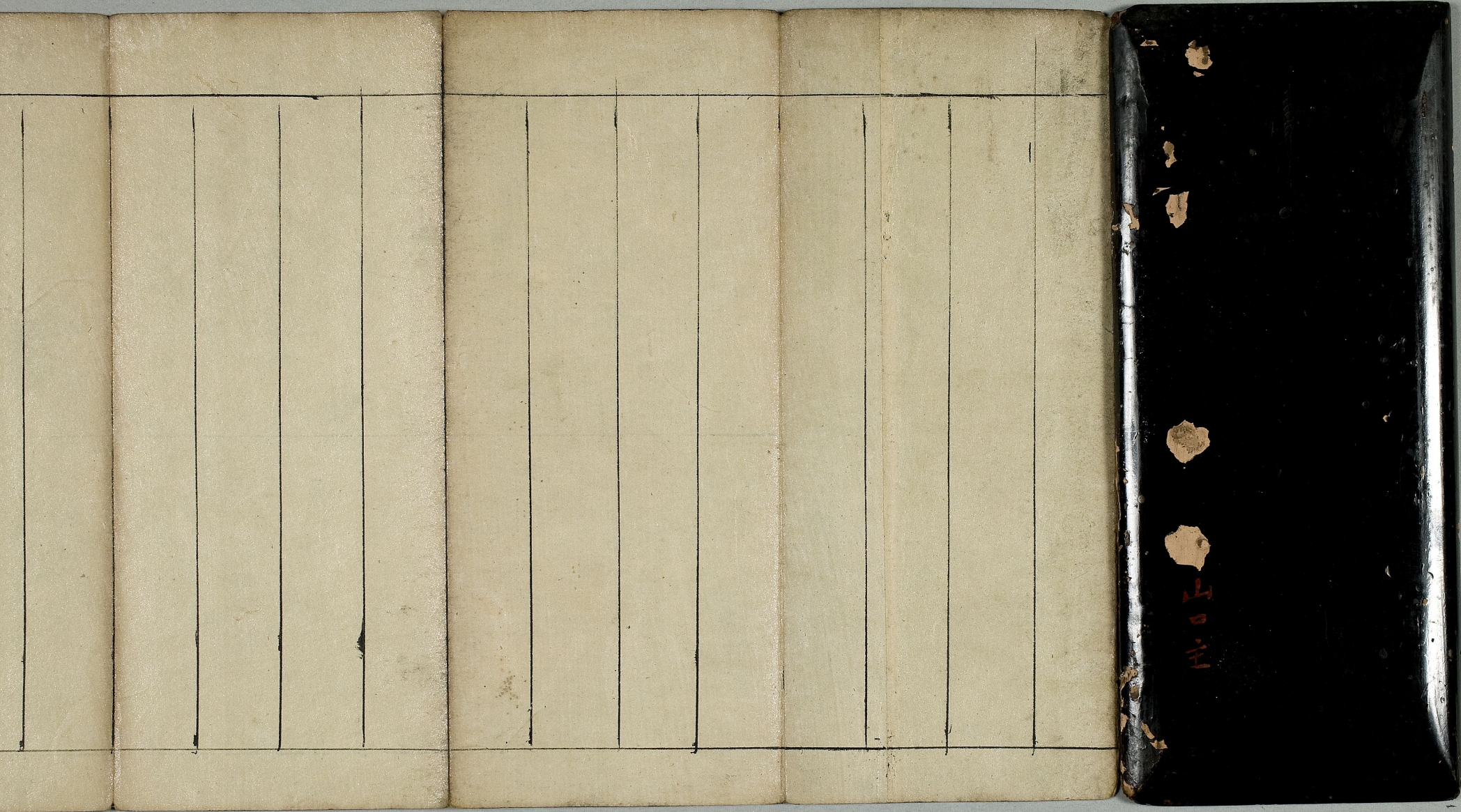
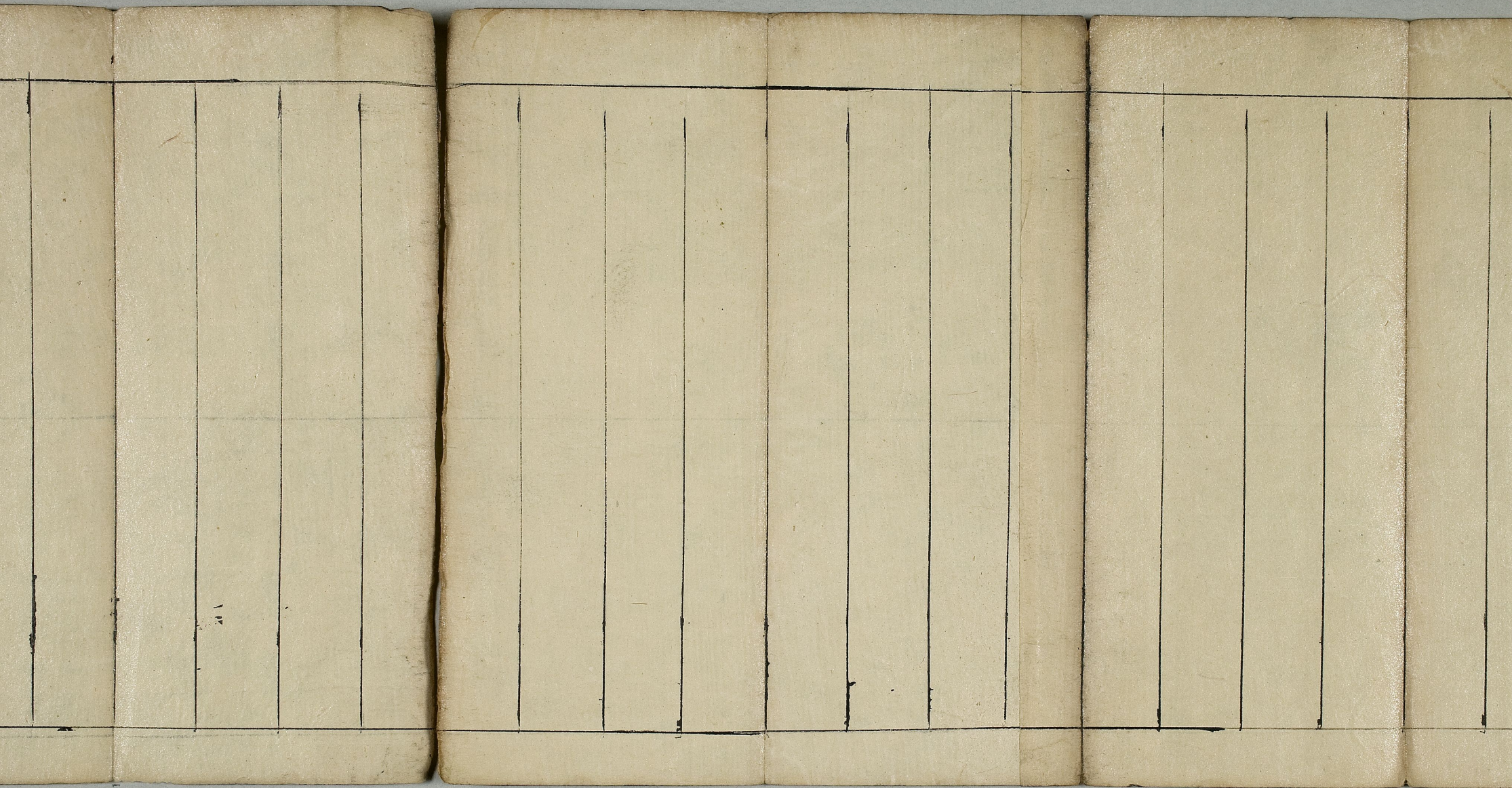


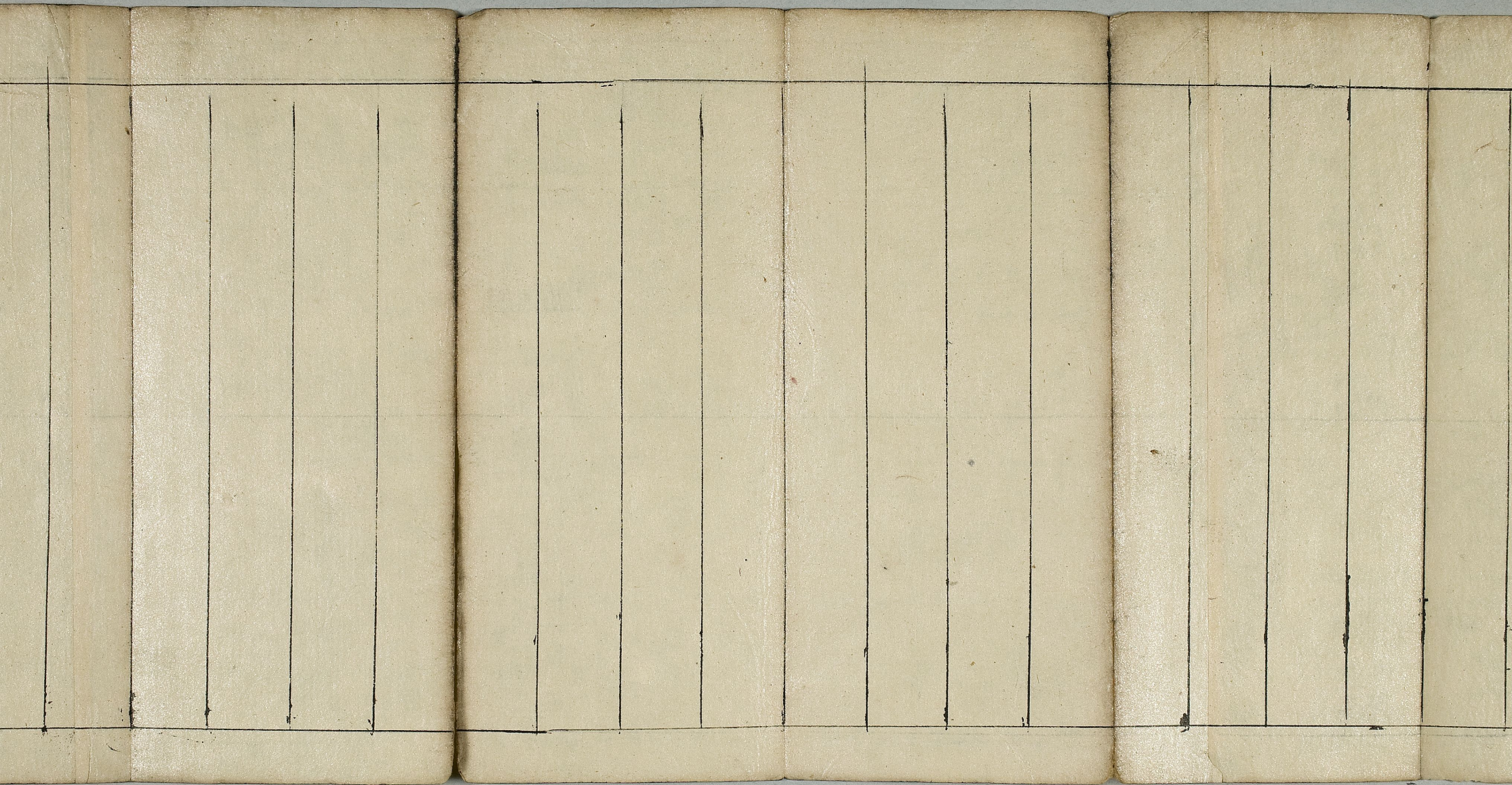


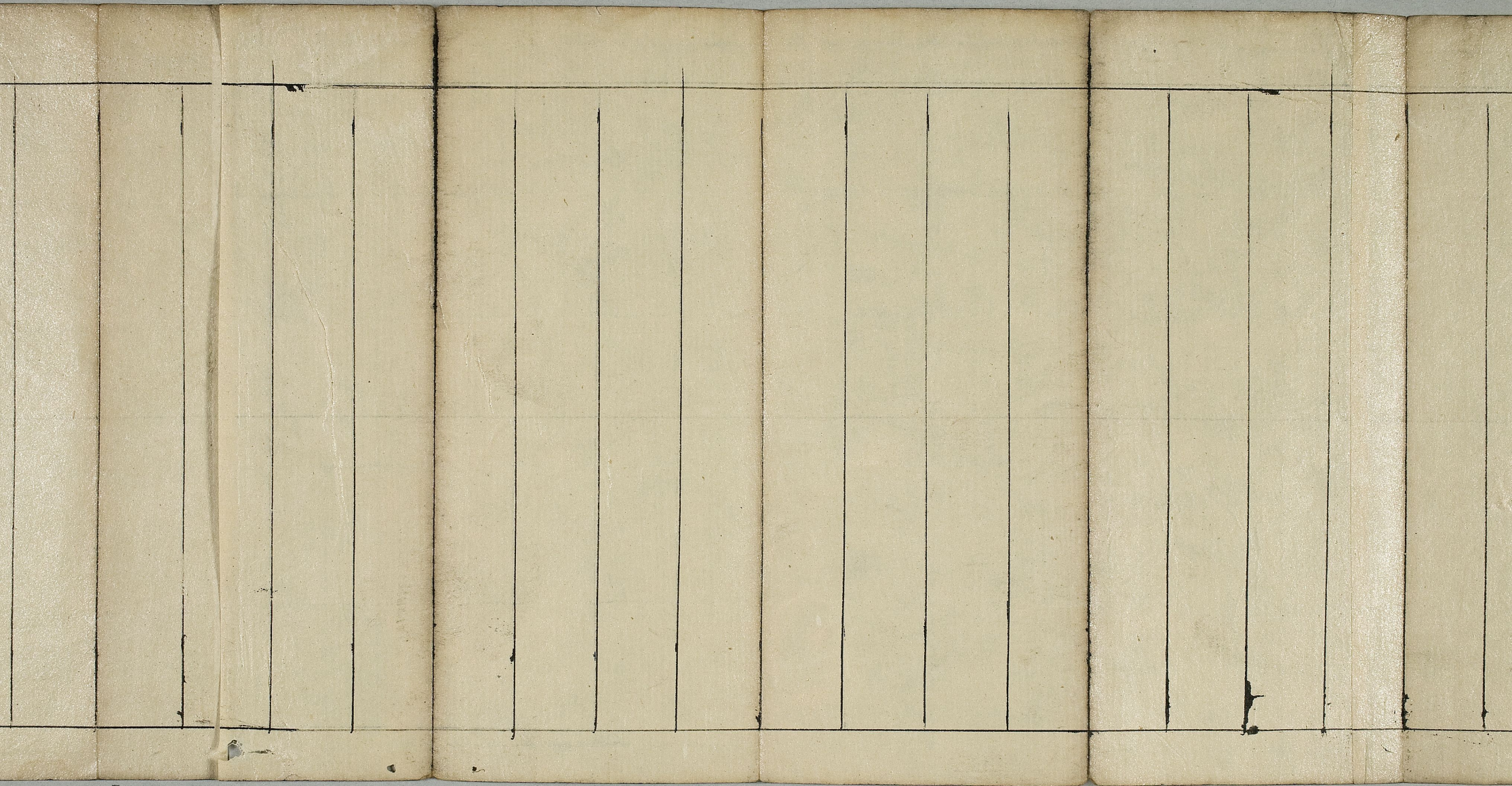
山口主

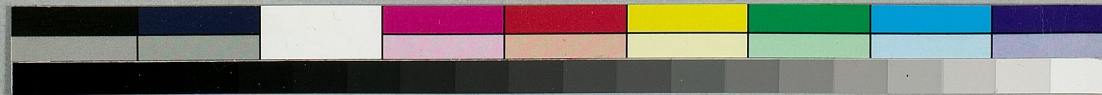
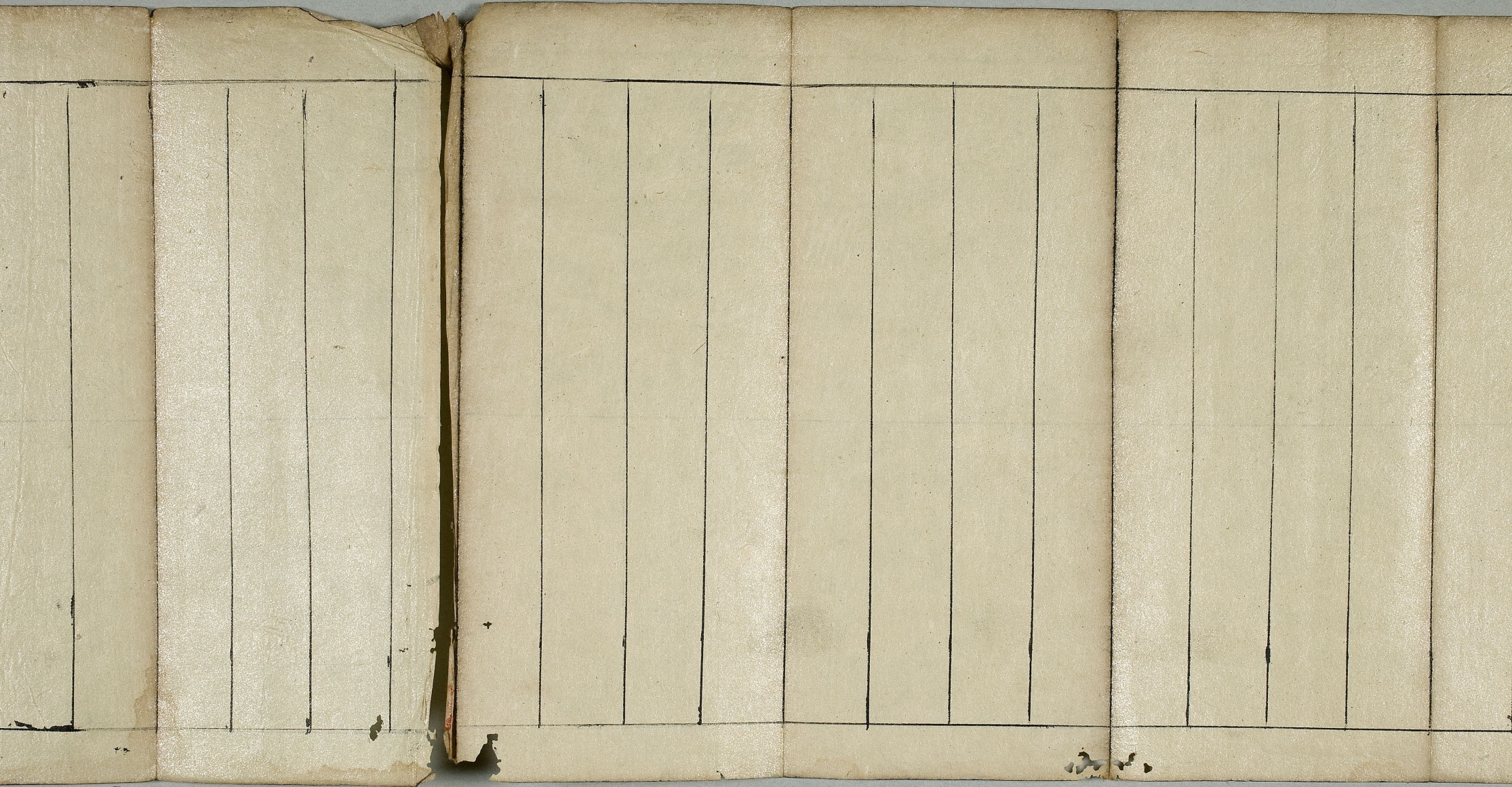


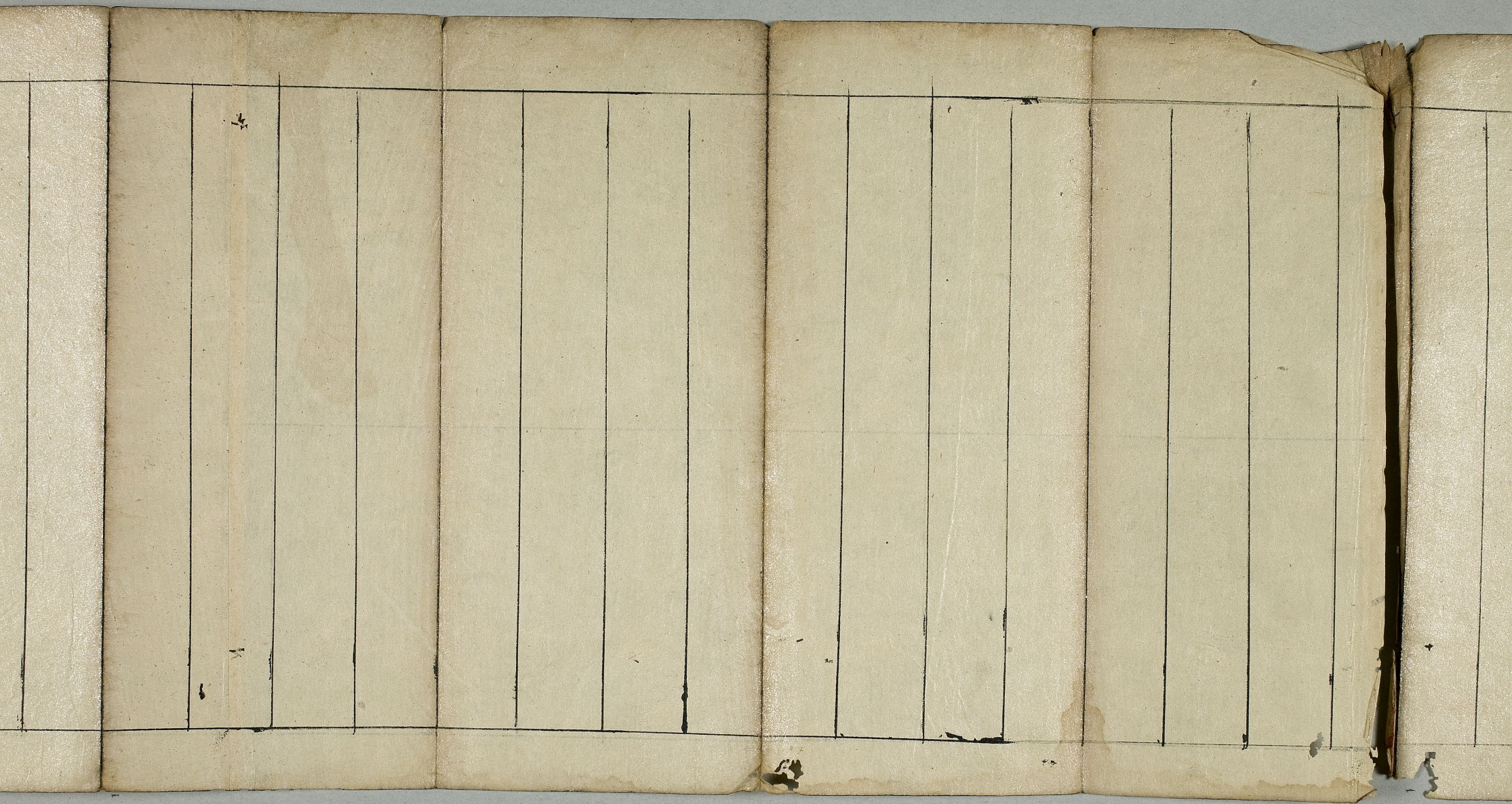


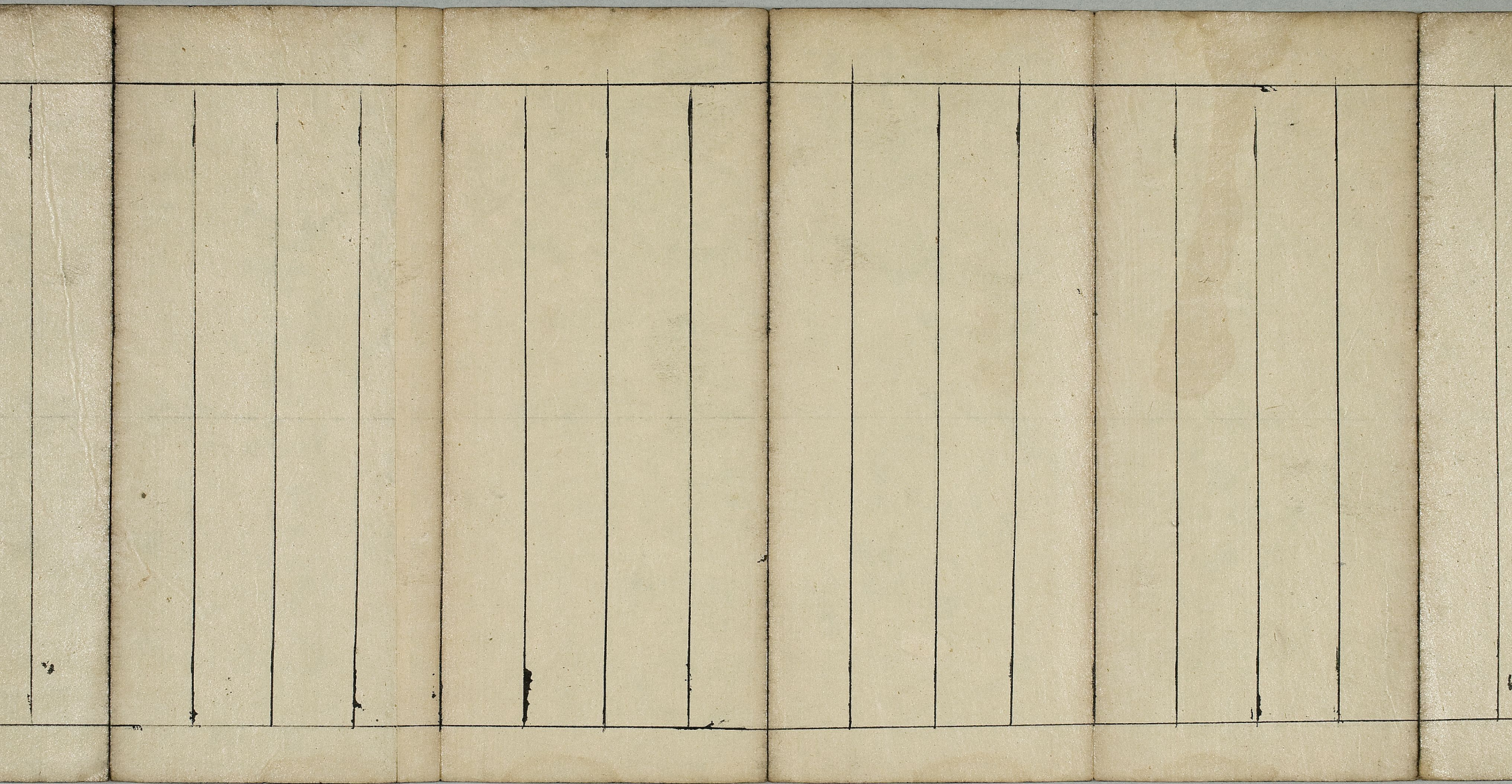


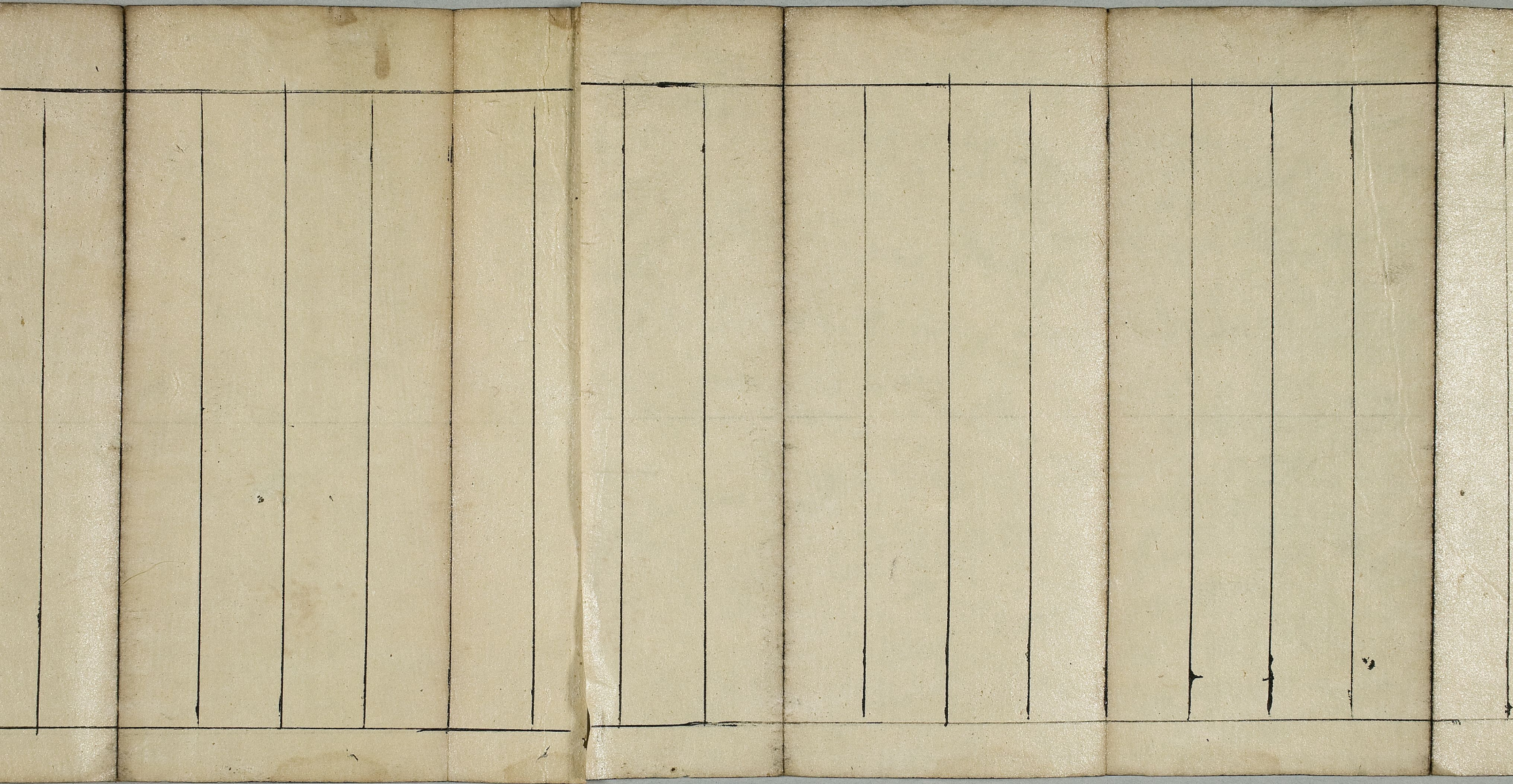


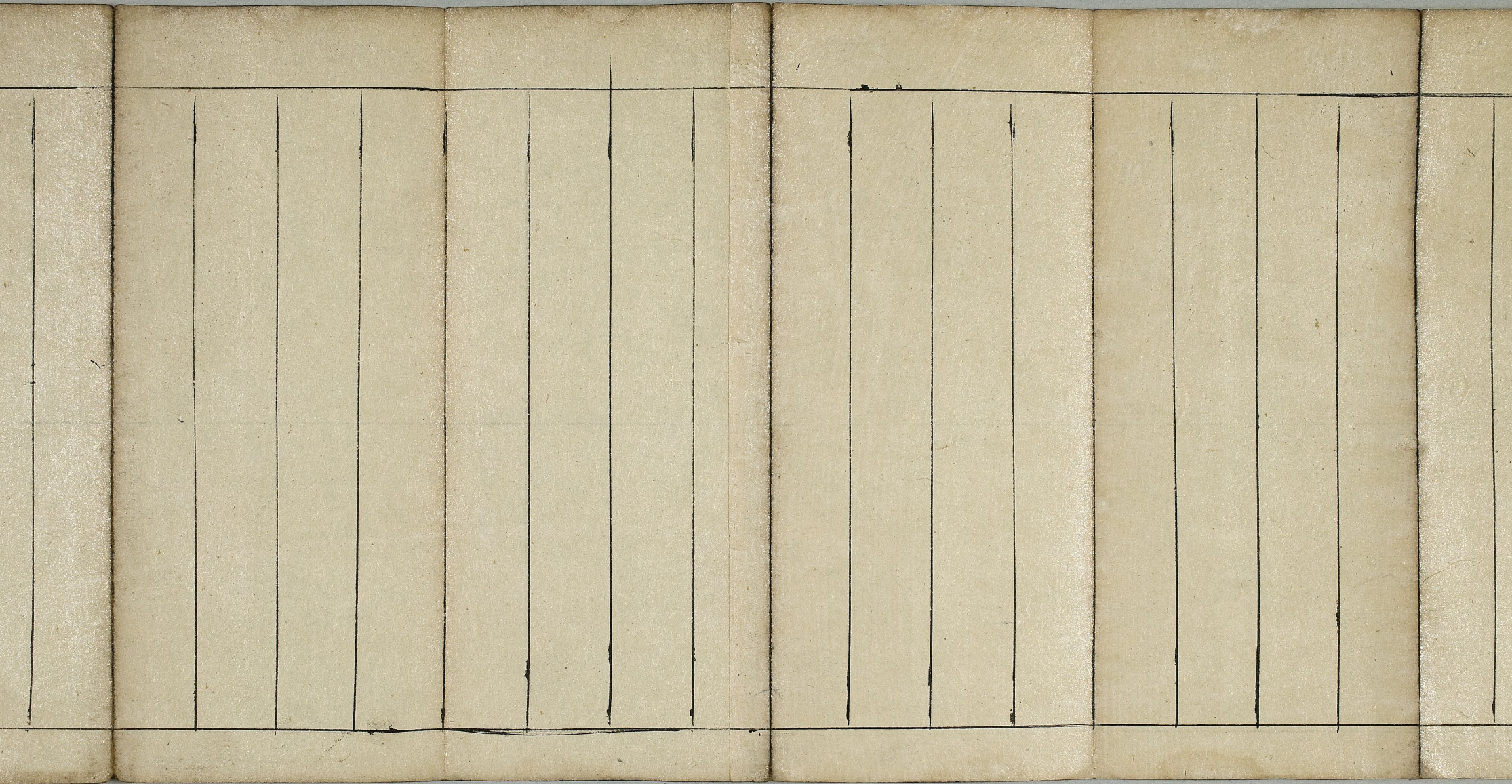












当郡村西富岡堀江仁兵衛三女（子代）作助美女より
 当郡失名今井国三郎平女嫁（郎）智復屋合屋合復野人
 小林源次郎及小坂妻美石井竹四郎嫁美女不幸（別れ）

同國大臣那事檢村社多至六百餘家
二部及之妹刊幣帳中羅絲戶
中、引去、行幸十七日

旧國高座郡門澤橋村定之と云ふ人
俗名柏木土佐乃
山口依七妻女之兄

同國大臣郡十原谷村仙左門ノ文
俗名曾我忠房
三神元佐門書肆後ノ安房ノ文

東都櫻田大南都慶治良家来
叙術武藝云達人
小松京甚兵衛政良
三神元治皇朝八師近也

同
丈任郡沼目村^ノ助左門^ノ妻^ト丸



海室

同 寺部百末町一文庫屋四良左門、母
茂野馬堀出產

進蓮

同 長沼村 俗名勸左門

常珊

同 目郡沼月村 卯名格文
俗名勸左門

堅壽

同 大佐郡長沼村出生 由助方、伯母
沼目村助左門、父
行年九十六

通善

日 大佐郡沼月村字橋久保
俗名勸左門、父

蓮阿

日 高座郡倉見村出產
門澤橋村喜左門、先妻

光譽

日 大佐郡國田村生門澤橋向助、父
元譽言、妻

元譽

日 高座郡門澤橋村向助、父良、父
俗名定左門、兄、

芳室

同 大佐郡長沼村助左門方ヨリ世貫妻、
俗名定左門、父
俗名元左門、妻

悦相

日 高座郡門澤橋村隣家向助、方、智、貫、
俗名定左門、父
俗名九左門、事
家相續、
父貫合家相續、

安相

同 大佐郡上戸村字下中、養、父、相續、
門澤橋村喜左門、父、俗名又左門、事
改名、相續、ト云

好覺

日 高座郡門澤橋村俗名直左門、事
俗名喜左門、未、件、也、行年
利、格、相、
九七、

榮壽

日 國高座郡門澤橋村内生
俗名定左門、妻
俗名、也、
行年九十一

柏相

當國高座郡門澤橋村隣家向助、方、智、貫、
在、左、門、父、俗名定左門、事、相續、
行年八十、

明臺

同 郡下稻屋村長、子、
子、易、明、
華屋大姉、妹、

同 村、子、易、明、神、上



柏相

當國高座郡門澤橋村
長子之文俗名定右門事相續又
佐七事父 俗名八十歲

明臺

同郡下稻屋村長子之
子身明神之事
華屋大姉ノ妹也
同村為子易明神上
榮子屋格之衡父
俗名茂左衛門

傳心

冬如

蓮久子也

蓮久

長子之
華屋ノ子也

淨岸

長無衛ノ子
華屋ノ子也

還西

俗名長兵衛
事

還本

同國同郡下稻屋村
俗名長之衛
華屋大姉ノ父也

瑚海

泰野大藏山下村源左ノ姉
俗名
山口佐七ハトコ

耕月

曰泰野大藏出生
模野村清藏實母
山口佐治五門ノ妹

點相

曰泰野大藏山下村
山源七事
俗名マウ

深入

曰 山口源七ノ妻父
俗名源七事
山口佐治五門兄

圓岸

曰 五事ノ父
山見源五門伯母

琉岸

曰 同村ノ湯屋村ノ長子也
俗名市ノ海事
山口三門ノ父

通岩

曰
俗名敘五門ノ妻
山口三門實母

冬屋

同國泰野大藏山下村
俗名敘五門
山口佐治五門實父



冬屋

同國桑野坂大倉山下村俗名敘左門
山口佐治屋門實父

智光院

俗名深雪本県足柄上郡中井村鴨沢須藤米三郎
三女として明治十年生る明治廿年山口家に嫁山口
左一の妻女たり先々考作助氏先考左七郎
氏夫妻より仕えつゝ良く實実勤儉の家風を守り家



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4 5 6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70

智光院

俗名深雪 本県足柄上郡中井村鴨沢須藤米三郎三女として明治十年生る 明治廿年山口家に嫁し山口左一の妻女たり 先々考作助氏先考左七郎氏夫妻より仕えつゝよく質実勤儉の家風を守り家政を司りつゝ二男六女の教育に力を盡し 明治政略の行はるに際してより左七郎左一次は左右平氏等三代に

歩りて衆議院議員を送り其間後顧の憂なく國家の爲に専念せしむる事を得たりは其内助の功に依る所大なるに依るものなり 而も其間天災地変世累大戦経済上の大変動等に依る被害甚大なりしも其間に履して専心事に當りて誤る事なく格据精勵幼若なる子女の教育に怠る事なく遂に家督を確立し家礎を定礎

て新時代を迎え得たり明治時代の婦徳を完全に實現し得たりは歴代の祖先も等しくこれを認め歡喜し給ふ所にして亦後世の範むる所なり

左二氏永く政界に盡力し地方行政衆村経済の指導に功績著ししため大正昭和の頃相共に宮中に参内し陛下に拝謁を賜はり又觀模觀菊の御宴に陪席するの光榮を得たりは家門の面目也

高嶽院

山口左平

明治十年左一長として生れ父祖の遺志を嗣ぎ農耕養育のため生涯を費せんとして期し京都帝大農学部を卒業すや直に産業組合中央会衆議院議員に入り農政問題の研究に専念せり 過に大東亜戦争勃発するや國家の念止む難く御黨青年の支拂を受け衆議院議員に推薦せられ青年政客として國政を参議し日夜東奔西走衆人を導く創目せむ戦終後を生くるや野に下り御黨のため力を致し変容極りなき世間の目に処して家政を編制しつゝ而も高遠なる識見と畫策とを載しつゝも病魔のためにはつたも前途を空しく行年四十六

靈應院

山口亮吾

智光院 深嚴貞雪大姉 後記

靈光院

山口左一

明治八年左二郎長男として生る明治廿年家季を繼ぐ明治四十五年京都府長に推挙せられ格据精勵村政の改善農村の福利増進のために貢獻す更に神奈川縣金の發達に力を盡し大正三年帝國農會議議員となり理事評議員として中央に活動すると十有八年更に顧問として終生農林界の指導たり

大正十三年家望辭職難く衆議院議員に選出せられ國政に參與すること多し及より常に中正溫健なる志想を懷き家政を誦一御黨を指導せし二男一女あり長は家訓たり次は英力も輝く下を承け行年六十二才長女上野氏次月江氏三女安藤氏四女東海氏五女石井氏六女寺田氏に嫁す

唐嶽

佐々木マキ

静岡縣土佐間宮信行村より生る郡内村生次二男長男養育をより唐嶽永く嫁左二郎長女として生る二男二女を承け長男左一相次二月恒信は居士東京間宮永相流氏女ハマモ子女即ち子本所妻由文の助嫁ニタツツ兵庫縣安田郡由良五郎の行年七十三才

恭嶽

山口左七郎

本縣足柄上郡金子村間宮信三郎二男第三子養育をより明治四年相續自由民権の志を力せり神奈川縣廳新設出陣時縣官失より又初代大住南次郎氏に連任し縣會議員より明治三十一年初期衆議院議員入り當選基に梅村合社役員に就き行年六十四才

常輝

今井縣下總國相馬郡柳村平氏大越清右衛門二女三女山口作助源恒恒後妻より(北頭間柳村相次郎ト云)

明珠

当国大住郡栗原村石井專次郎長女三三台作助源恒恒先妻ナリ 俗名芳以行年二十九才ニテ卒ス

清光

永徳院二男カミテ山口作助源恒恒ト称ス 石倉村旧地ヲ七五三ノに移轉ス事未明明治維新後トテトシ事外行年六十九才ニテ卒ス

三命

左同人三女ナリ

明珠

当国大佐郡原村石井専次郎長女ニテ
山作助源恒固先妻ナリ
俗名芳以行年二十九才ニ卒ス

清光

永徳院二田カミテ山口作助源恒固ト作ス
石倉田宛地ヲ七五三引ニ移轉ス事未明治維
新ニテ五才外ニ移轉ス事未明治維新ニテ
行年八十二才ニ卒ス

玉輪

左同人三女ナリ
俗名ト小
行年十五才ニ卒ス

華紅

左同人次女ナリ
俗名む久
行年六才ニ卒ス

亮高

山口左司右門源真純長女出生後廿日程ニテ死ス
俗名以志

麗山

山口左司右門源真純長男
俗名内藏辨
行年十三才ニ卒ス

永瀧

山晃司右門源恒幸次女ニテ山口左司右門源真純妻
ナリ
俗名きき
行年十九才ニ卒ス

永徳

当国住郡土屋村水嶋五郎右門邦義三男幼名
喜三郎ト云フ当国相續ニテ山口左司右門源真純ト
云子供五人有リ男子二人女子三人ナリ行年十八才ニ卒ス

永壽

永福院妻当国大佐郡千須谷村曾我千右門妹ナリ
女子二人有リ一男一三才ニ卒ス二男一才ニ卒ス
一才ニ卒ス俗名ききト云ヒ相續ス俗名ト云ヒ
行年十九才ニ卒ス

永福

山口佐七長男幼名内藏辨後佐右門
三神右門源真純ト云フ三神左司右門源恒幸ト云
當村ヨリ移住ス劍術ヲ好ミ白旗ノ前ニ着年寄ノ見
分ヲ請フ賞トシテ台銀五枚ヲ賜フ行年五十五才

觀照

当国高坐郡門澤橋村柏木定左門妹
實相院妻

實相

山口佐治右門泰信實子長男
俗名山口佐七

一葉

西性
三神左治右門實ノ長子
山口俗名嘉子行年三才

夏雲

同国大佐郡沼目村為安橋久保板山和左門妻ト云
山口左治左門ノ長女
俗名阿笑行年七十五才

消雪

山口佐七實子

清境

山口佐治右門實子佐七才

秀妙

山口佐治右門實子佐七妹

林光

山口佐治右門實子佐七妹

希了

山口佐治右門實子佐七妹



秀妙

山居後在嗣實子佐七妹

林光

山口佐七實子佐七妹

諦了

山口佐七實子佐七妹

了寬

山口佐七實子

散露

山口佐七實子佐七子

柏庭

當國寺中長谷村天野

家大能寺相傳人言山口佐七實子
香花寺同寺相傳人言山口佐七實子
文化三箇九月寺相傳人言山口佐七實子
俗名天野富右衛門行年五十歲

知雲

同村之内石倉山寺在兩方養食子行相續

山口佐七實子

俗名茂左門行年三十二歲

華屋

同國大佐郡下糴屋村長冬係銀也

俗名泰示

行年七十四歲

傑相

當國寺野城郡太倉山寺村父山紋左衛門二男ニテ相續

俗名山口佐治右衛門泰信

行年八十四歲

水月

了上方上生寺

當國寺野城郡太倉山寺村山紋左衛門二男ニテ相續

俗名山口佐治右衛門泰信

梅岩

野田元左衛門二男

俗名野田佐兵衛良久

行年六拾貳歲

知雲

直應元祖

悟運居士毒

俗名泰留瀨

行年七十六歲

悟運元祖

筑前福岡城主

野田平左衛門元子

黑田城前守家臣

同名元左衛門上男

行年七十二歲

文明院

野田元左衛門實子

恭性院

筑前福岡城主

高貳十石知行

中興勇士俗名野田平左衛門

野田元左衛門實子



